

令和 3 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	11		学 校 名		茨城県立太田西山高等学校				課 程		全日制		学校長名		谷 津 勉			
教 頭 名	藤 和博								事務長名		坂 本 秀 友							
教職員数	教 諭	36	養 護 教 諭	1	常 勤 講 師	2	非常勤 講 師	11	実習教諭, 実習 講師, 実習助手	1	事 務 員	3	技術職 員 等	6	計	63		
生 徒 数	小学科	1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合計クラス数						
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
	普 通 科	73	103	76	91	109	113			258	307	16						

2 目指す学校像

1	人間力を高め、将来の夢を実現する学校
2	知・徳・体の調和のとれた、心身ともに健全な人格の完成を目指す学校
3	自ら学び続ける力の育成を目指す学校
4	地域に愛され、信頼される学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	72%の生徒が、各教科の学習指導に関して様々な工夫がなされていると感じており、72%の生徒が、授業はわかりやすいと考えている。 55%の生徒が家庭学習を行い、授業に前向きな態度で取り組んでいる。一方、46%の生徒は家庭学習の時間や内容が不十分であると感じている。	- 基礎学力の定着から応用力の育成を図るため、ICTを効果的に活用するなど、わかりやすい授業をさらに展開する必要がある。 - 家庭での学習習慣の定着とともに、生徒の学習意欲を喚起し、予習など次の授業に向けた主体的学習を行える授業改善が必要である。（課題点検）
進路指導	70%の保護者は、本校の進路指導が充実していると感じており、83%の生徒は、将来の進路に関しての面談や指導が十分に行われていると感じている。 3年間の一貫した進路指導の体系（2年次からはコース別）の完成年度となる。各学年と連携して指導にあたる。	- 個別指導の充実を図り、一人一人に応じたきめ細やかな進路指導を展開する必要がある。（アプリの利用） 3年間を見据えた進路指導を計画的に実施し、将来の目標を定め、キャリア教育の推進によって社会とのつながりを見据えた取組を行う。
生徒指導	- 地域住民は、本校生のマナーや挨拶については75%が肯定的に捉えているが、25%近くの人あまりよくできてはいないと感じている。 - 校内ではルールやマナーを守って生活ができている状況ではあるが、個別の継続的な指導・支援が必要な生徒が見られる。	- 基本的な生活習慣のさらなる確立を図るため、全職員の共通理解のもとに指導を継続する必要がある。 - 生徒理解のための個別面談を充実させ、生徒の心に寄り添う指導体制の確立が必要である。 - 学年や生徒指導部による組織的対応と指導により時間外指導の負担軽減を推進する。
特別活動	- コロナ禍で、感染対策を講じた上で、学校行事や生徒会活動を精選して実施した。 - 陸上競技部、野球部、サッカー部、自然科学部などが県大会等に出場し活躍している。	- 生徒を学校生活に主体的に取り組ませ、体験活動の活性化のために、キャリアパスポート等を活用し、連携の取れた指導体制の確立を目指す。 - 部活動については、長時間の指導とならないように質の高い、効率的な実施に努める。

4 中期的目標

1	3年間を通して、ライフスキルの向上を目指す取組を実施するとともに、生徒個々に応じた教科等及びキャリア教育の指導に努め、多様な進路希望の実現を目指す。
2	社会に参画する力を高めるため、特別活動（体験活動・生徒会（常任委員会・ホームルーム））等や部活動を通じて、生徒が自分の価値を認識するとともに、相手の価値を尊重し、協働する教育活動の充実に努める。
3	探究しながら課題を解決する力を育むため、アクティブ・ラーニングやICTを活用した授業の推進に努める。
4	働き方改革を推進するため、仕事の効率化を図り、超過勤務時間の削減に努める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 探究活動等による生徒の資質・能力の向上	・生徒の実態に即した授業の展開を通して、基礎的知識及び技能の向上と学習意欲の喚起に努める。 ①アクティブ・ラーニングによる主体的な学びに向かう力を育成するための授業改善 ②基礎的な知識および技能の定着と、それらを活用して思考・判断・表現する力の育成 ③ICT教育推進委員会を発足し、反転学習や授業中のICT活用の推進を図る ④ICT機器の活用による学習動画の視聴や、アプリケーションによる授業のふり返しによる、家庭学習の定着と学習時間の確保
2 キャリア教育の推進による、生徒一人一人に適した進路の実現	・ライフスキルの育成を通して、個に応じたきめ細かな進路指導を充実するとともに、生涯にわたって充実した生活が送れるよう、生徒一人一人に適した進路の実現に努める。 ①ライフスキルの育成を中心とするキャリア教育の充実 ②進路実現プロジェクトチームを発足し、生徒のキャリア教育と進路の実現に努める ③自己理解を深めるとともに、キャリアノートやアプリケーション等による自己分析と自己管理に努める
3 シティズンシップ教育の推進による主体的に社会に参画する力の育成	・ライフスキルの育成を通して、自ら考えて行動する中で基本的生活習慣の確立を図るとともに、自主的・自律的な態度の育成に努める。また、特別活動の充実を通して、学校生活の活性化を図るとともに、集団の一員としての自覚と責任に基づく規範意識の高揚に努める。話し合いでの課題解決を促すことで社会に参画できる資質・能力を養う。 ①基本的生活習慣の確立 ②HR活動、生徒会活動、学校行事の活性化 ③部活動の加入率の向上と継続的な活動への支援 ④道徳教育による自己のあり方・生き方を考える力の育成 ⑤カウンセリングマインドを持って傾聴する等、教育相談体制の充実を図る ⑥シティズンシップ教育により自分たちの課題を話し合い、自己決定し、主体的に行動する流れをつくる
4 地域、保護者との交流・連携による教育活動の充実	・地域の歴史を学び、地域における特色ある体験や地域の教育力を活かした活動を通して、教育活動を充実させるとともに、信頼され期待される学校づくりを目指し、本校の教育活動に対して地域、保護者の理解が得られるように努める。 ①保護者との緊密な連絡と連携 ②中学校訪問や説明会及びHP等による情報の収集と発信 ③地域社会の理解を目指した取組の推進 ④学校の業務を明確化し、外部との連携の推進
5 働き方改革の推進	・勤務時間削減のため、仕事の優先順位付けを行うとともに、仕事の質の向上を目指す。 ①会議時間の上限設定 ②会議内容の事前周知を伴う、会議資料のペーパーレス化の促進・ ③ICT教育の推進（授業の振り返りや予習のための動画の配信、確認テストの配信など）により教科間等の共有を進め、仕事の効率化を図る